

# 世界が 懸念 していること

2024年6月

# 世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界29カ国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

調査結果のさらなる分析は、イプソスの [Report 1175](#)「[世界が懸念していること](#)」ホームページでご覧いただけます。

詳細については、  
**Teodros.Gebrekal@ipsos.com**  
までお問い合わせください。

# 主な調査結果

## 01. インフレは依然として最大の懸念事項

27ヶ月連続で、インフレへの懸念が最大の問題となっていますが、現在では29カ国で3分の1(33%)がインフレへの懸念を回答しており、安定しています。

## 04. 10カ国がインフレを最大の懸念事項としている

トルコ(58%)、カナダ(54%)、アルゼンチン(51%)、オーストラリア(48%)、米国(46%)、シンガポール(46%)、フランス(40%)、韓国(39%)、ポーランド(38%)、インド(38%)がインフレを自国の最大の懸念事項としています。

## 02. 悲観論が高まっている

今年、29カ国平均では、自国が正しい方向に向かっていると答えた人の割合が3ポイント減少しています。ペルーは2022年4月以来最低の正しい方向スコア(8%)を記録しています。

## 05. 犯罪と暴力に対する懸念が高まっている

今月は犯罪と暴力がリストの順位を1つ上げて第2位になっています。詳細については、[ipsos.com](https://ipsos.com)で6月26日の犯罪に関する最新のグローバルアドバイザリーリリースをご覧ください。

## 03. 経済は重要だ

G7サミットを目前に実査が行われました。経済が「良い」と答えた英国国民の割合は、2022年3月以来の最高スコアに達しています。同様に、ドイツのスコアも回復し、2023年7月頃の水準に戻っています。

## 06. 紛争とテロ

ポーランドは現在、イスラエルを上回り、軍事衝突に関して最も懸念する国となっています。しかし、テロ(イスラエルの最大の懸念事項)に関しては、イスラエルは29カ国の中で群を抜いて最も懸念しています。

# 世界が懸念していること 2024年6月

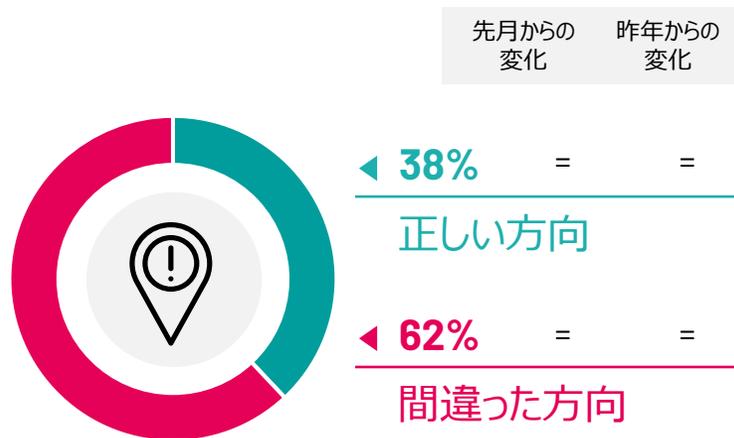
## 最も懸念していることトップ5

Q: 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？

		先月からの 変化	昨年からの 変化
インフレ	33%	-1	-7
犯罪/暴力	30%	=	+1
貧困/社会的不平等	29%	-1	-2
失業	27%	=	=
金融/政治腐敗	25%	-1	=

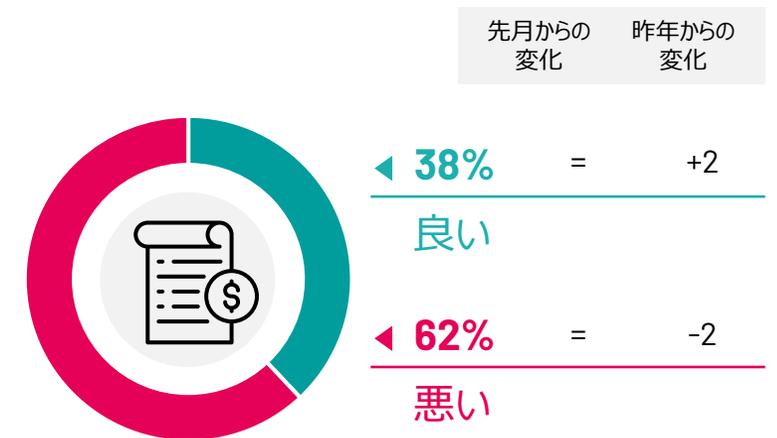
## 国の状況

Q: 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



## 経済の状況

Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



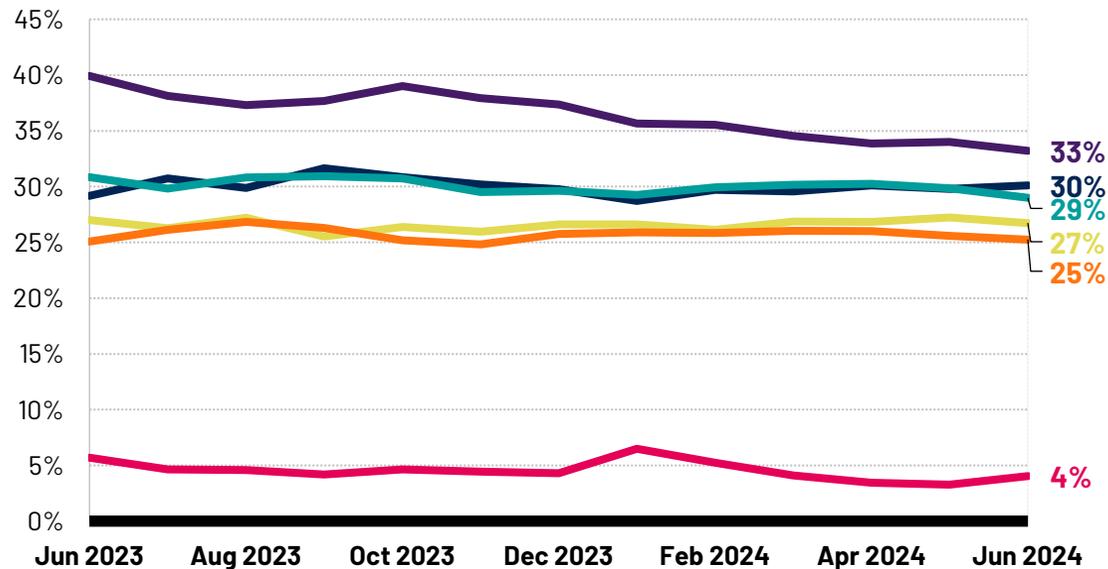
対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

# 世界が懸念していること 12ヶ月のトレンド

## 最も懸念していることトップ5

Q: 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？



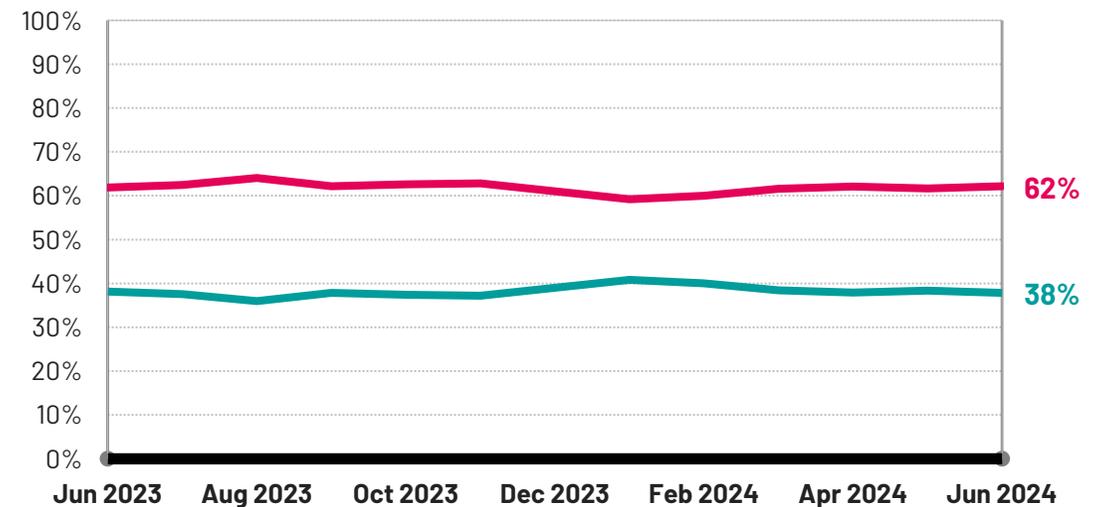
インフレ    犯罪    不平等    失業    腐敗    新型コロナウイルス

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2024年6月

## 国の状況

Q: 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？

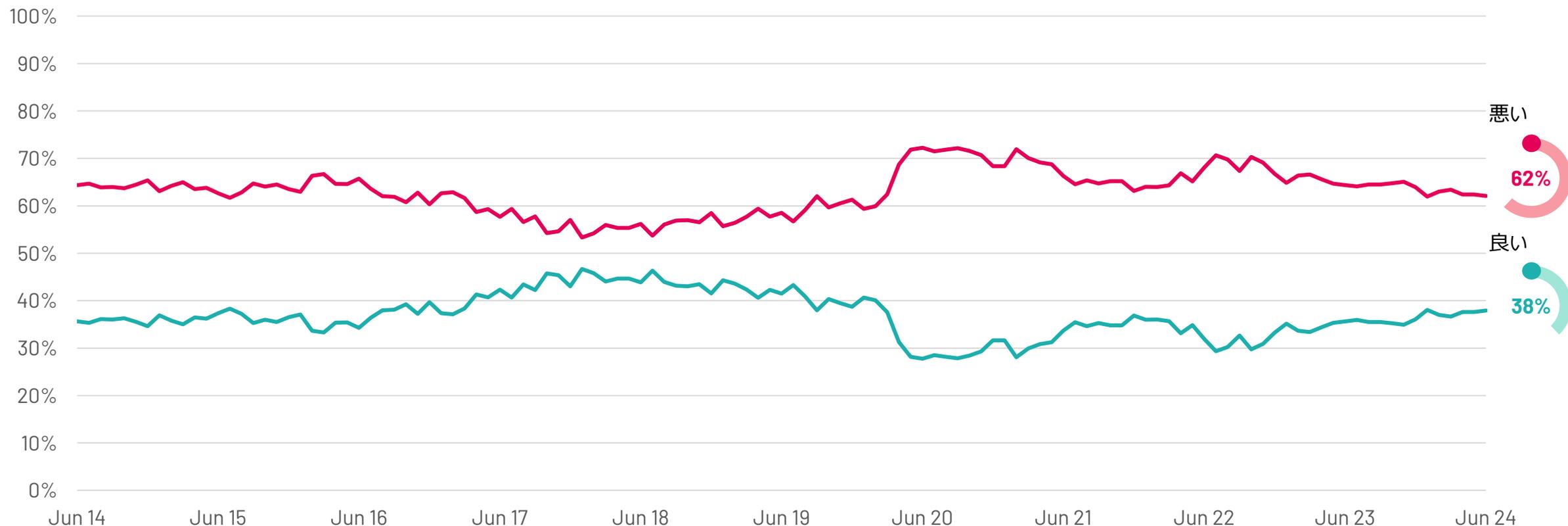


正しい方向    間違った方向

# 世界経済の現状

Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？

(「非常に良い」または「ある程度良い」と「非常に悪い」または「ある程度悪い」の割合)



対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

# 各国が進む方向

全対象国

# 正しい方向/ 間違った方向 モニター

29カ国で10人中4人弱(38%)が、自国は正しい方向に向かっていると答えています。これは前月から変わらず、今年初めより3ポイント低い結果となっています。

オランダ国民の楽観度は先月大幅に低下しましたが、6月はより楽観的になり、自国が正しい方向に向かっていると答えた人の割合は6ポイント増加して4分の1強(27%)となっています。

一方、ペルーでは、楽観主義は今や過去最低に近づいています。ペルー国民のうち、国が正しい方向に向かっていると答えた人の割合は、今月は5月から7ポイント減少して8%となっています。ちなみに、これは昨年の同時期よりも12ポイント低く、2022年4月のペルーの過去最低の7%にあと1ポイントと迫る、低いスコアです。

一部の国ではその逆で、肯定的な意見が

高まっています。例えばマレーシアでは、正しい方向のスコアが14ポイント上昇し、5分の3以上(65%)となっています。

チリの正しい方向スコアも上昇中です。3分の1(32%)は、自国が正しい方向に進んでいると答えており、これは先月から8ポイント上昇したことになります。

# 8%

のペルー国民が自国が正しい方向に向かっていると回答しています。これは2022年4月以来の低いスコアです。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

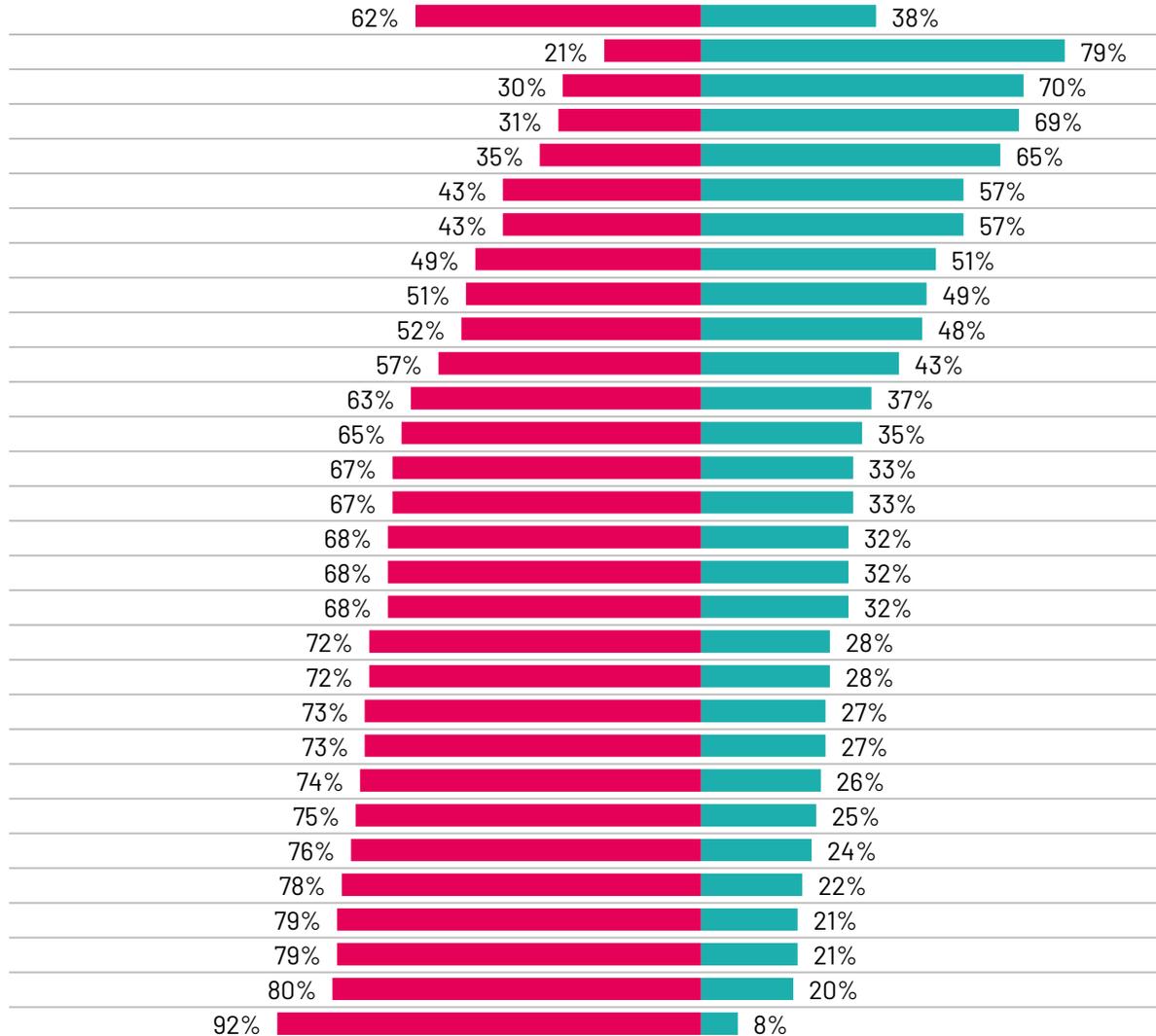
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

## 国

世界
シンガポール
インドネシア
インド
マレーシア
タイ
アルゼンチン
メキシコ
ポーランド
オーストラリア
ブラジル
コロンビア
英国
スペイン
ベルギー
チリ
米国
イタリア
スウェーデン
カナダ
オランダ
ドイツ
フランス
イスラエル
ハンガリー
日本
トルコ
韓国
南アフリカ
ペルー

Q: 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか?  
(2024年6月)



正しい方向

間違った方向

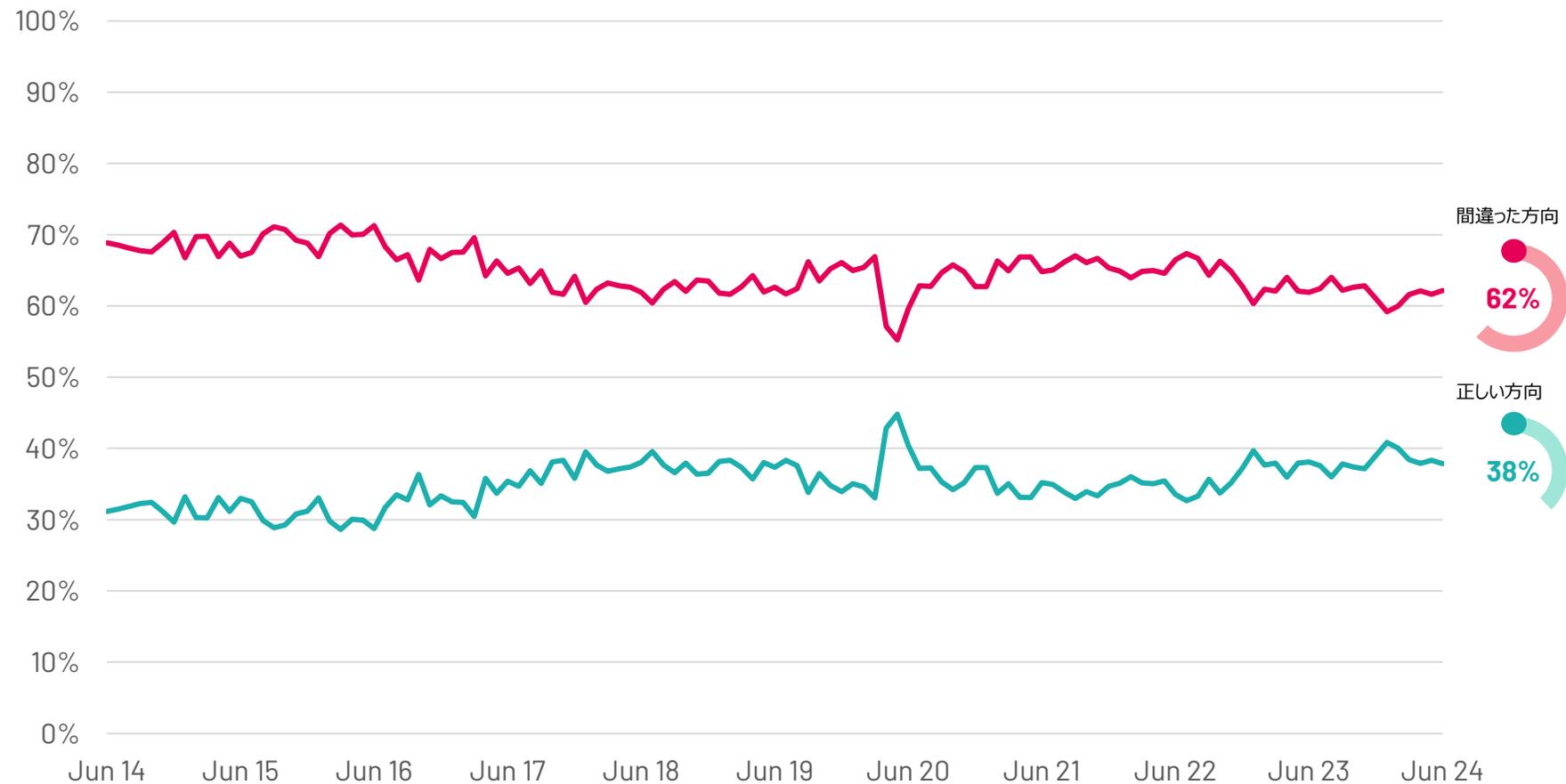
# 世界の正しい方向/間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか?



# 世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

# 世界の懸念事項: 全リスト

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

インフレを懸念する人の割合はここ数カ月、約3人に1人で安定していますが、昨年後半に懸念は減少し始めました。今月のスコアは33%で、昨年の同時期より7ポイント低く、2022年4月以来、インフレに対する懸念が最も低いレベルです。

上位5つの懸念事項の残りも、ほぼ変化はありません。貧困と社会的不平等は、今月わずかに減少し、もはや2位ではなく、現在3位となっています。

国家間の軍事衝突は、懸念のレベルがわずかに上昇しているにもかかわらず、依然として11位に留まっています。同様に、テロに対する懸念もわずかに高まり、今月は15位から12位へと順位を3つ上げています。

気候変動と移民規制は、今月懸念事項としてわずかに上昇し、現在リストの7位に並んでいます。どちらも、現在17%が自国

が直面する最大の懸念事項としてこれらを挙げています。

最後に、新型コロナウイルスは依然として私たちの懸念事項リストの中では最後から2番目ですが、世界レベルでは懸念がわずかに高まっています。

# 27

ヶ月連続で、インフレが最大の懸念事項となっています。

# 世界の懸念事項: 全リスト

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

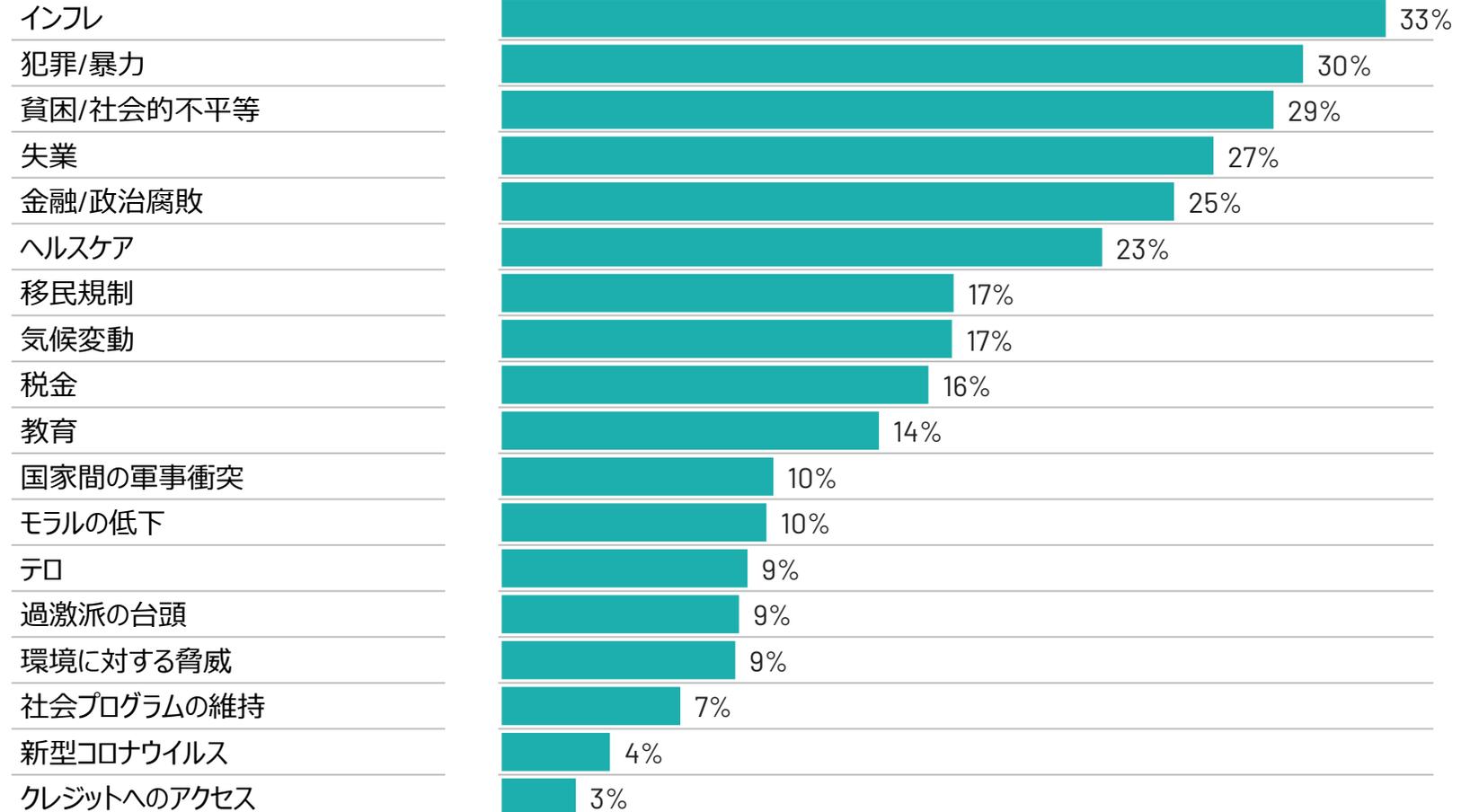
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

## Q: 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？

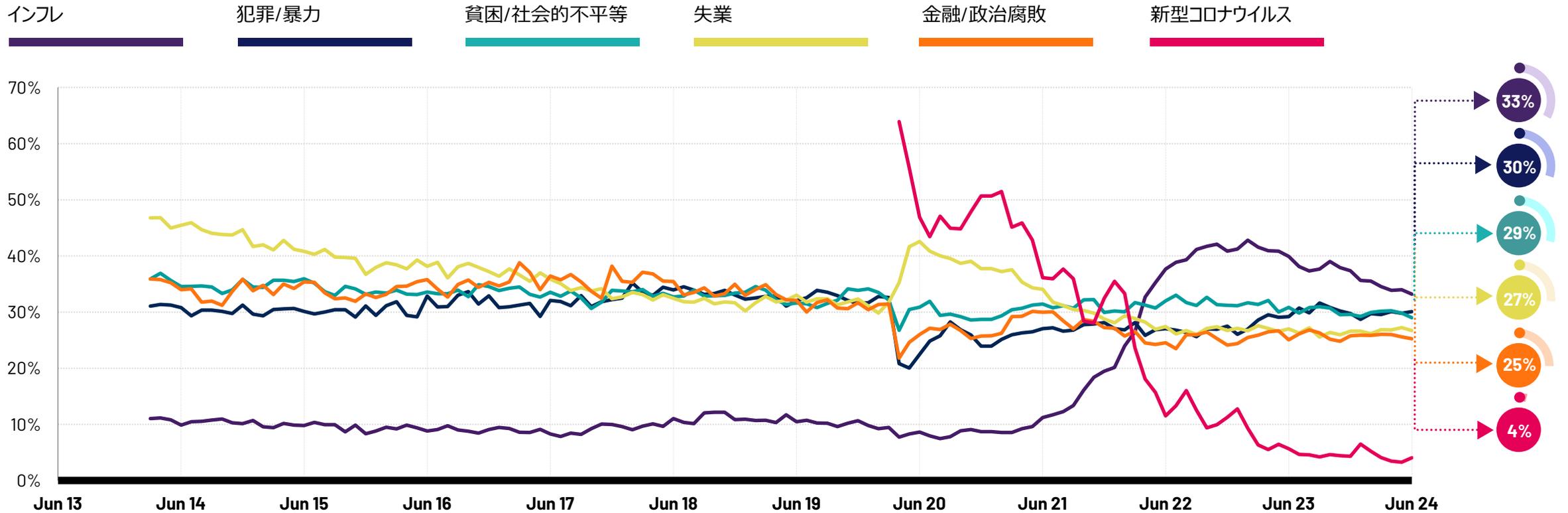
### 懸念事項

### 2024年6月の回答割合(29カ国平均)



# 世界の懸念事項：長期トレンド

Q: 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？ 29カ国平均



対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

# 1. インフレ

3分の1(33%)が、インフレは自国に影響を及ぼしている3つの最大の問題の1つであると答えており、これは先月からわずかに減少しただけです。このスコアは今年の同時期より7ポイント低いです。

先月、シンガポールはほぼ5分の3(59%)の人が懸念を感じており、リストのトップにランクされました。しかし今月は13ポイント下落し、6位となっています。これは、2022年11月に「世界が懸念していること」調査にシンガポールを追加して以来、シンガポールの最低スコアです。

ヨーロッパ全域で、インフレに対する懸念が薄れ始めています。最大の懸念事項であるにもかかわらず、ポーランドのスコアは5ポイント低下して38%となっています。ポーランドの懸念レベルは、2022年10月のピーク(70%)以来、着実に低下しています。

スウェーデンはインフレを回答した人が8ポイント減って17%となり、現在最も懸念の少ない国となっています。同様に、ドイツ(30%)は5ポイント低下し、英国(27%)は4ポイント低下しています。

唯一の例外はフランス(40%)で、5月から6ポイント上昇しています。

## インフレが最大の懸念事項となっている国:

- トルコ(58%)
- シンガポール(46%)
- カナダ(54%)
- フランス(40%)
- アルゼンチン(51%)
- 韓国(39%)
- オーストラリア(48%)
- ポーランド(38%)
- 米国(46%)
- インド(38%)

# 33%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: Ipsosグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 1. インフレ

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

国	インフレを懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	33%	-1	-7
トルコ	58%	+3	+2
カナダ	54%	=	+1
アルゼンチン	51%	=	-20
オーストラリア	48%	+1	-4
米国	46%	-4	+3
シンガポール	46%	-13	-10
フランス	40%	+6	-2
韓国	39%	-6	+2
ポーランド	38%	-5	-27
インド	38%	-3	-10
日本	34%	+4	+4
ハンガリー	34%	=	-17
タイ	34%	+7	+5
コロンビア	30%	-1	-12
チリ	30%	+1	-10
ドイツ	30%	-5	-12
ベルギー	29%	+4	-1
マレーシア	29%	-1	-10
スペイン	28%	-1	-6
英国	27%	-4	-20
ペルー	26%	-2	-1
イタリア	26%	+3	-4
ブラジル	24%	+1	-3
イスラエル	23%	+5	-5
メキシコ	23%	-1	-14
南アフリカ	21%	+1	-8
インドネシア	20%	-3	+5
オランダ	20%	-2	-6
スウェーデン	17%	-8	-17

## 2. 犯罪/暴力

10人中3人(30%)が犯罪と暴力を自国における懸念事項として挙げており、これは先月から変化がありません。

ベルギーのスコアはわずかに3ポイント上昇し、10人中3人弱(28%)となっています。国民の懸念がこれほど高くなったのは、2018年3月が最後で、その時も28%でした。ベルギーの最高スコアは2014年6月の31%でした。

ドイツ国民の犯罪と暴力に対する懸念レベルも今月は過去最高となりました。5ポイント上昇して10人中3人(30%)となり、インフレとともに3番目に大きな問題となっています。これは過去4年間で最も高い数字で、2020年2月も30%が懸念を感じていると回答していました。

ヨーロッパの他の国々を見ると、今月3ポイント下落したにもかかわらず、スウェーデン

が特に懸念しています。懸念しているのは5分の3以上(61%)で、これは1年前より6ポイント高い数字です。

### 犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国:

- チリ(67%)
- スウェーデン(61%)
- ペルー(57%)
- メキシコ(48%)
- ブラジル(42%)

# 30%

が、**犯罪と暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## 2. 犯罪/暴力

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

国	犯罪/暴力を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	30%	=	+1
チリ	67%	-2	+5
スウェーデン	61%	-3	+6
ペルー	57%	+3	-3
南アフリカ	52%	-4	-4
メキシコ	48%	-4	-4
ブラジル	42%	-4	+7
アルゼンチン	39%	+1	-8
コロンビア	33%	=	-5
米国	33%	-2	-3
オーストラリア	32%	-1	+9
フランス	31%	+2	+3
ドイツ	30%	+5	+9
タイ	28%	-3	+3
ベルギー	28%	+3	+12
マレーシア	27%	+5	+9
英国	26%	+1	+7
イスラエル	23%	-3	-23
イタリア	23%	=	+4
インド	22%	=	-4
トルコ	22%	+1	+5
オランダ	21%	+1	-5
インドネシア	21%	+3	-1
カナダ	20%	+2	-2
韓国	20%	+6	+1
スペイン	19%	-1	+1
日本	17%	+2	-4
シンガポール	11%	-1	+2
ハンガリー	11%	-1	+2
ポーランド	9%	+2	+6

### 3. 貧困/社会的 不平等

貧困と社会的不平等に関する回答は今月わずかに減少し、私たちのリストで2番目に高い懸念事項から3番目に下がっています。

ハンガリーは先月1位に浮上したものの、今月7ポイント下落して3位となっています。不平等は現在、ヘルスケアと腐敗に次いで、ハンガリーにとって3番目に大きな懸念事項となっています。

同様に、トルコの今月のスコアは7ポイント下落して3分の1をわずかに下回る32%となり、これもトルコの3番目に大きな懸念事項となっています。とはいえ、これは他の国と比較すると比較的平均的なスコアであり、先月のレベルは通常よりも高いです。

ペルーの懸念レベルは今月著しく上昇し、6ポイント上昇して3分の1強(34%)となり、

同国はトップ10に入っています。これは2023年9月(35%)以来の最高値です。

#### 貧困/社会的不平等が最大の懸念事項となっている国:

- タイ(39%)
- 日本(36%)
- オランダ(34%)

# 29%

が、**貧困と社会的不平等**が自国が直面している重要な問題の一つであると答えています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

### 3. 貧困/社会的 不平等

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

国	貧困/社会的不平等を懸念していると回答した割合	先月からの 変化	12ヶ月の 変化
世界	29%	-1	-2
アルゼンチン	41%	=	+3
ハンガリー	40%	-7	-1
インドネシア	40%	+2	-4
タイ	39%	-5	=
ブラジル	38%	-1	-2
日本	36%	+3	+1
ペルー	34%	+6	+3
オランダ	34%	-3	+1
南アフリカ	34%	+2	+5
ドイツ	34%	+1	-1
コロンビア	33%	-1	-2
トルコ	32%	-7	-6
オーストラリア	31%	+2	+2
マレーシア	30%	-1	-8
英国	27%	=	-2
イタリア	27%	=	-2
スペイン	26%	=	-5
韓国	26%	=	-3
カナダ	26%	-2	=
ベルギー	25%	-3	-5
フランス	25%	-4	+1
メキシコ	25%	=	-2
チリ	24%	-5	-3
ポーランド	22%	+3	=
米国	21%	+2	-2
スウェーデン	20%	-4	-2
インド	19%	-4	-5
イスラエル	18%	=	-10
シンガポール	16%	+3	-4

## 4.失業

今月は4分の1強(27%)が失業を懸念事項として回答していますが、これは前回から変化はありません。

南アフリカは一貫して失業の懸念が第1位であり、今月も例外ではありません。しかし、懸念レベルは大幅に低下し、6ポイント低下して5分の3強(61%)となっています。これは1年前より9ポイント低く、2021年3月(60%)以来の最低スコアです。

一方、ラテンアメリカでは、アルゼンチンの失業に対する懸念レベルが着実に上昇しており、現在47%に達しており、長年の懸念事項であるインフレ(現在51%)を追い抜く勢いとなっています。失業を懸念する人は47%で、年初より13ポイント上昇しています。これは2020年5月(48%)以来の最高値です。

ペルーも同様に、今月8ポイント上昇して

46%となり、記録上最も高い懸念レベルに達しています。

### 失業が最大の懸念事項となっている国:

- 南アフリカ(61%)
- コロンビア(49%)
- スペイン(33%)

# 27%

が、**失業**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 4.失業

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

国	失業を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	27%	=	=
南アフリカ	61%	-6	-9
コロンビア	49%	+4	+7
アルゼンチン	47%	+4	+13
ペルー	46%	+8	+11
インドネシア	39%	+1	=
韓国	38%	-1	-2
メキシコ	35%	-1	-2
インド	35%	-9	-8
イタリア	34%	=	-4
スペイン	33%	-1	-8
シンガポール	32%	-7	-10
チリ	31%	+4	-1
タイ	30%	+5	+4
マレーシア	30%	-2	-4
トルコ	26%	-3	+6
オーストラリア	23%	+2	+4
ブラジル	22%	-4	-8
カナダ	17%	-1	+1
米国	17%	+1	+2
ポーランド	17%	-8	+7
日本	17%	-2	-2
ハンガリー	16%	-1	+1
スウェーデン	14%	-2	-2
英国	14%	+2	+2
ベルギー	14%	=	-1
イスラエル	12%	-1	-3
フランス	11%	+1	-1
ドイツ	8%	=	=
オランダ	7%	+2	+2

## 5. 金融/政治腐敗

29カ国で4分の1(25%)が自国における金融/政治腐敗を懸念事項として挙げており、これは先月からわずかに変化していません。

汚職が最大の懸念事項となっている2カ国では、今月、懸念レベルがともに8ポイント低下しています。インドネシアは先月最高スコアを記録しましたが、その後57%に低下しています。マレーシアは現在5分の2(40%)で、1年前より6ポイント低いスコアです。

イスラエルは今月、順位を大幅に上げています。汚職を回答した人は11ポイント上昇して3分の1以上(35%)となり、軍事衝突を上回りテロに次ぐ2番目に高い懸念事項となっています。これは2023年8月(37%)以来の最高値です。

対照的に、6月2日の総選挙後、メキシコ

のスコアは9ポイント低下し、5分の1未満(17%)となっています。

### 金融/政治腐敗が最大の懸念事項となっている国:

- インドネシア(57%)
- マレーシア(40%)

# 25%

が、**金融/政治腐敗**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 5. 金融/政治腐敗

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

国	金融/政治腐敗を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	25%	-1	=
インドネシア	57%	-8	+7
ペルー	52%	-1	+7
南アフリカ	50%	-1	-8
ハンガリー	45%	+4	+5
マレーシア	40%	-8	-6
タイ	38%	-1	-2
イスラエル	35%	+11	+5
韓国	32%	+4	-2
コロンビア	31%	=	-3
ポーランド	29%	+5	-1
スペイン	27%	+2	+5
ブラジル	27%	=	-3
チリ	26%	=	+5
日本	25%	-6	+12
トルコ	25%	+6	+7
インド	23%	-4	-2
アルゼンチン	22%	-1	-7
米国	19%	=	-1
メキシコ	17%	-9	-8
英国	16%	-1	+3
ベルギー	14%	=	-6
スウェーデン	13%	+4	+3
イタリア	13%	+1	+2
カナダ	12%	+1	-2
シンガポール	9%	+1	+4
フランス	9%	-2	+2
オーストラリア	9%	-5	-3
ドイツ	8%	-2	-5
オランダ	8%	=	-6

## 6. ヘルスケア

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

ヘルスケアを問題として挙げた人の割合は4分の1弱(23%)で、先月と比べて変化はありません。

ハンガリーは一貫してヘルスケアを最重要課題としており、今月も例外ではありません。先月低下した後、ハンガリーのスコアは9ポイント上昇して5分の3以上(62%)となり、これは昨年6月の懸念レベルより7ポイント高い結果です。

イタリアは先月初めて、失業を最大の懸念事項としてきた記録を破りました。今月もこの傾向は変わらず、ヘルスケアに対する懸念は引き続き増加しており、現在はほぼ5分の2(38%)に達しています。

逆方向に進んでいる国はポーランドです。先月のスコアは2023年8月以来の最高値でしたが、今月は懸念レベルが10ポイント低下し、3分の1(33%)となっています。こ

れは2024年で2番目に低い水準です。

### ヘルスケアが最大の懸念事項となっている国:

- ハンガリー (62%)
- 英国 (40%)
- イタリア (38%)

# 23%

が、ヘルスケアは自国が直面している重要な課題の一つだと答えています。

# 6. ヘルスケア

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

国	ヘルスケアを懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	23%	=	+1
ハンガリー	62%	+9	+7
カナダ	43%	-1	-2
英国	40%	+1	-3
イタリア	38%	+2	+11
ブラジル	38%	-2	+3
ポーランド	33%	-10	-3
オランダ	30%	=	+2
オーストラリア	29%	+1	-6
コロンビア	27%	-1	+10
シンガポール	26%	-2	-5
スウェーデン	26%	+3	+1
フランス	25%	=	-2
米国	24%	+3	+2
スペイン	24%	-9	-11
メキシコ	22%	=	+8
ベルギー	21%	=	+1
韓国	17%	-2	+10
ドイツ	16%	=	-1
インド	15%	+1	+3
チリ	14%	+2	=
アルゼンチン	14%	-2	+7
南アフリカ	13%	=	+2
ペルー	13%	+1	-7
日本	11%	+3	+1
マレーシア	11%	+4	+2
タイ	10%	+2	+2
インドネシア	7%	=	=
イスラエル	4%	-1	-5
トルコ	4%	-1	+1

## 8. 気候変動

気候変動を懸念事項として挙げる割合は今月わずかに上昇し、17%となっています。

気候変動は現在、シンガポールで2番目に高い懸念事項であり、7ポイント増加して3分の1強(34%)となり、インフレ(46%)を上回っています。これは、シンガポールが2022年11月に調査に参加して以来、2023年10月と並んで最大のスコアです。

今月、気候変動を回答するブラジル国民の割合が大幅に増加し、11ポイント増の5分の1(19%)となっています。これは過去10年間で国内で最も高い懸念レベルであり、2番目に高いスコアは2024年1月に記録されました(17%)。

ブラジルの隣国コロンビアは、異なる状況となっています。今月は8ポイント下落して10%です。これは今年2番目に低い水準

であり、2024年1月は9%でした。

**気候変動が最大の懸念事項となっている国:**  
なし

# 17%

が、**気候変動**は自国が直面している重要な課題の一つだと答えています。

**対象:** 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

**出典:** 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

# 8. 気候変動

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

国	気候変動を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	17%	+1	=
シンガポール	34%	+7	+4
オランダ	28%	+3	-1
メキシコ	26%	+3	+8
ドイツ	26%	+2	-3
日本	26%	+1	+2
タイ	24%	-5	+11
イタリア	23%	=	-5
オーストラリア	22%	=	-5
カナダ	22%	=	=
ベルギー	21%	+2	-2
インドネシア	20%	-3	+1
英国	20%	-2	-3
韓国	19%	+2	+2
フランス	19%	-1	-6
ブラジル	19%	+11	+10
スペイン	18%	+2	-3
スウェーデン	18%	+3	=
米国	18%	+1	-1
インド	13%	+3	+5
ポーランド	13%	-1	=
コロンビア	10%	-8	=
ペルー	9%	+4	+2
マレーシア	9%	-4	-6
ハンガリー	8%	+1	=
チリ	7%	+2	+2
トルコ	7%	-4	-5
南アフリカ	7%	=	+2
アルゼンチン	5%	+2	+2
イスラエル	2%	-3	=

# 11. 国家間の軍事衝突

10人に1人(10%)が国家間の軍事衝突を選択していますが、先月からわずかに減少しています。

先月、懸念が記録的なレベルに達したにもかかわらず、軍事衝突はもはやイスラエルにとって二番目に大きな懸念事項ではありません。イスラエルのスコアは16ポイント下落し、3分の1(33%)となっています。これは2023年10月の紛争開始以来、最も低いレベルの懸念です。ただし、1年前と比較すると16ポイント高いです。

これにより、ポーランドは現在私たちのリストのトップに立ち、ポーランド国民の3分の1強(35%)が軍事衝突を挙げています。トップではあるものの、先月からスコアは4ポイント低下しています。しかし、1年前より6ポイント高いです。

懸念していると答えるオランダ国民の割合

が増加しています。3ポイント上昇して19%となり、これは2024年3月に記録した高水準(同じく19%)と同程度です。

**国家間の軍事衝突が最大の懸念事項となっている国々:**

なし

# 10%

が、**国家間の軍事衝突**は自国が直面している重要な問題の一つであると答えています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 11. 国家間の軍事衝突

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

国	国家間の軍事衝突を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	10%	-1	+2
ポーランド	35%	-4	+6
イスラエル	33%	-16	+16
ドイツ	23%	-1	+2
オランダ	19%	+3	+6
イタリア	18%	-1	+8
韓国	15%	+3	-5
英国	15%	=	+5
ベルギー	14%	+2	+6
米国	13%	=	+4
スウェーデン	12%	+1	-2
日本	12%	-3	-3
スペイン	12%	+3	+8
フランス	11%	-3	-1
オーストラリア	8%	-1	-1
インド	8%	+1	+2
ハンガリー	7%	-3	-5
コロンビア	6%	=	+4
マレーシア	6%	+2	+1
タイ	5%	+1	-3
シンガポール	5%	-1	+1
カナダ	4%	-1	=
インドネシア	3%	-2	-2
ペルー	3%	+1	+2
メキシコ	2%	-1	-1
ブラジル	2%	=	-1
アルゼンチン	2%	-1	+1
チリ	1%	-1	=
南アフリカ	1%	-1	=
トルコ	1%	=	-1

# 13. テロ

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

11人に1人(9%)が、テロは自国が直面しているトップ3の問題の一つであると答えています。これは5月のスコアからのわずかな増加です。

イスラエルは依然として圧倒的に最も懸念している国です。今月は懸念レベルが大幅に高まり、懸念事項として挙げる人が5分の3(60%)に上っています。これは2016年半ば以来3番目に高いスコアであり、2023年11月と12月のスコア(それぞれ63%と64%)にわずかに下回るだけです。

一方、ドイツ(11%)、マレーシア(10%)、スペイン(10%)、シンガポール(8%)はいずれも4ポイント増加しています。

スペインは他国に比べ高くはないものの、懸念レベルは着実に上昇しており、昨年6月よりも7ポイント高くなっています。

# 9%

が、**テロ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

## テロが最大の懸念事項となっている国:

- イスラエル(60%)

# 13. テロ

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

国	テロを懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	9%	+1	+1
イスラエル	60%	+8	+22
フランス	16%	=	+7
コロンビア	15%	+3	=
インド	15%	+3	-2
トルコ	14%	+2	-6
スウェーデン	14%	+1	+6
ドイツ	11%	+4	+3
マレーシア	10%	+4	+4
スペイン	10%	+4	+7
英国	9%	=	+3
ベルギー	9%	-3	+3
インドネシア	9%	=	-5
シンガポール	8%	+4	+3
メキシコ	8%	+3	+3
チリ	8%	-3	-1
タイ	7%	-1	+1
米国	7%	-2	-1
オランダ	7%	+1	+1
ペルー	5%	=	-4
イタリア	5%	=	+2
ポーランド	4%	+2	=
アルゼンチン	4%	=	+2
オーストラリア	4%	-2	+1
カナダ	3%	+1	+2
韓国	2%	-1	=
ブラジル	2%	-1	-1
南アフリカ	2%	=	+2
日本	2%	-1	-2
ハンガリー	1%	-2	=

# 17. 新型コロナウイルス

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29カ国全体で新型コロナウイルスを回答する割合は4%で、先月からわずかに増加しています。

シンガポールは常に最も懸念している国の一つです。今月は懸念していると答えた人が5ポイント増加して15%となり、リストのトップにランクインしています。これは、3月(18%)と1月(22%)に次いで、2024年で3番目に高い懸念レベルです。

先月、新型コロナウイルスを回答したメキシコ国民はわずか1%でした。今年6月、これを回答する人の割合はどの国よりも増加し、8ポイント増の11人に1人(9%)となっています。これは今年2月以来の最高値です。

マレーシアの懸念レベルも今月徐々に高まっています。懸念を表明したマレーシア国民の数は6ポイント増加して13%となっ

ています。

**新型コロナウイルスが最大の懸念事項となっている国：**

なし

# 4%

が、**新型コロナウイルス**は自国が直面している重要な問題の一つであると答えています。

# 17. 新型コロナウイルス

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2024年6月

国	新型コロナウイルスを懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	4%	+1	-2
シンガポール	15%	+5	+3
マレーシア	13%	+6	+1
メキシコ	9%	+8	+2
タイ	9%	-2	-9
インドネシア	9%	+4	-9
インド	6%	-1	-3
スペイン	5%	+2	=
ハンガリー	5%	+2	+4
日本	4%	-1	-6
トルコ	4%	-1	-4
オーストラリア	4%	=	-4
米国	3%	-1	-3
ブラジル	3%	=	-3
南アフリカ	3%	-1	=
英国	3%	=	-2
イタリア	3%	+1	=
韓国	3%	=	-2
フランス	2%	-1	-5
ベルギー	2%	+2	-1
ドイツ	2%	=	-1
カナダ	2%	=	-2
チリ	2%	=	=
オランダ	2%	+2	-2
コロンビア	1%	+1	-1
アルゼンチン	1%	+1	-1
ポーランド	1%	=	-1
ペルー	1%	-2	-1
スウェーデン	1%	=	=
イスラエル	0%	-1	-1

# 経済への注目

# 自国の経済状況

イプソスの「世界が懸念していること」調査と並び、毎月実施されている「世界消費者信頼感調査」は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること」調査レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

最新の消費者信頼感調査の結果の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

詳細については、  
[Emilios.Louca@ipsos.com](mailto:Emilios.Louca@ipsos.com)  
までお問い合わせください。

# 現在の 経済状況

イプソスの「世界が懸念していること」調査に含まれる29カ国の平均では、38%が自国の現在の経済状況は良好であると回答しており、4月から変化はありません。

今月、経済に対する肯定的な感情が最も高まったのはマレーシア(経済が「良い」状態にあると回答した人が11ポイント上昇して58%)で、オランダと英国(ともに8ポイント上昇してそれぞれ65%と39%)がそれに続いています。

一方、イスラエルでは今月13ポイント下落して31%となり、同国史上最低のスコアとなっています。

ペルーは5ポイント低下し、現在、本調査の好景気スコアとしては2番目に低く(12%)、最下位の日本(11%)を1ポイント上回っています。これはペルーにとって2022年8月(10%)以来の最低スコアです。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## 経済を最も懸念している国々 :

- 日本(89%が「悪い」と回答)
- ペルー(88%)
- 韓国(87%)
- アルゼンチン(85%)
- トルコ(79%)

# -13pp

イスラエルの好景気スコアは先月より13ポイント低下しています。



# 現在の 経済状況

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

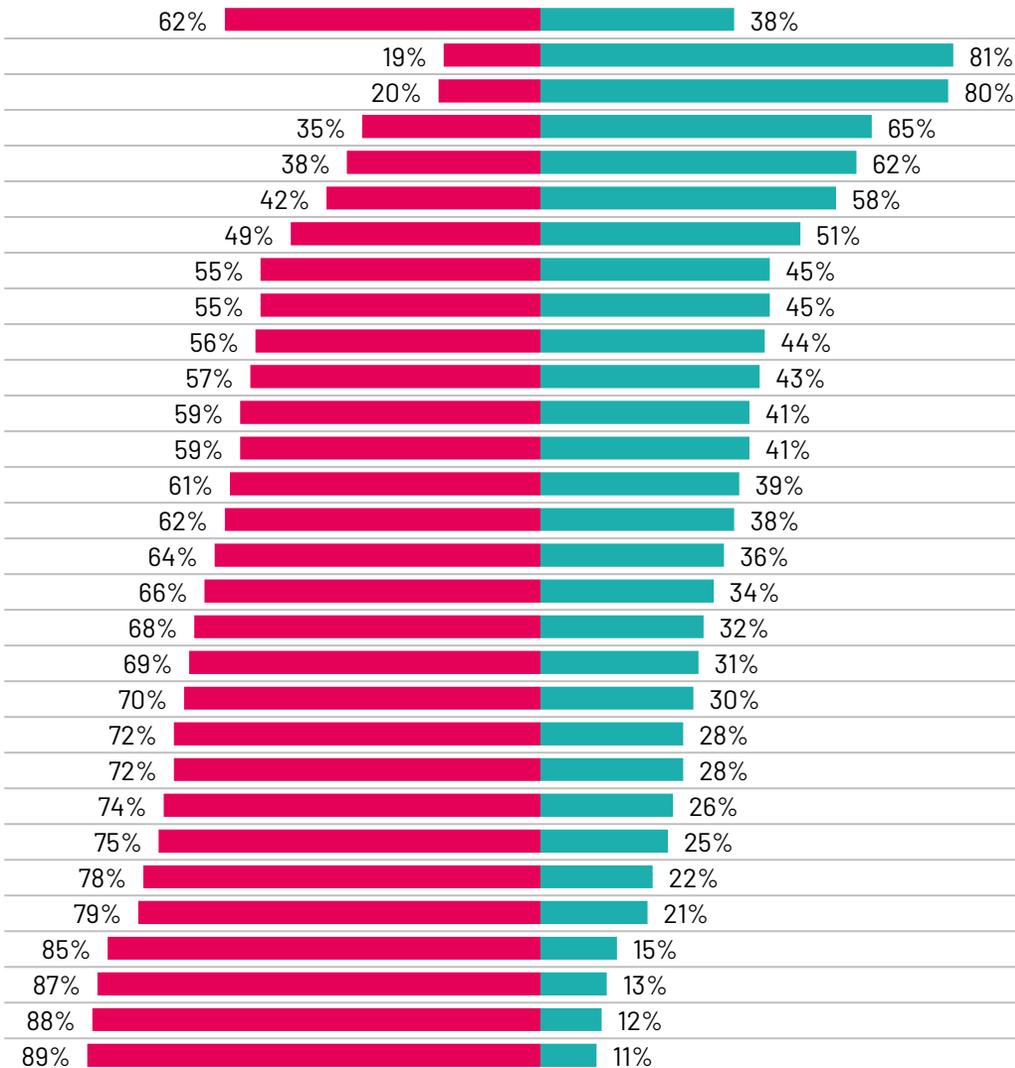
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年6月

## 国

## Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？

世界
シンガポール
インド
オランダ
インドネシア
マレーシア
メキシコ
タイ
ドイツ
オーストラリア
ポーランド
スウェーデン
ベルギー
英国
米国
ブラジル
スペイン
イタリア
イスラエル
カナダ
チリ
フランス
コロンビア
南アフリカ
ハンガリー
トルコ
アルゼンチン
韓国
ペルー
日本



良い 悪い



## 先月からの変化 12ヶ月の変化 (「良い」スコア) (「良い」スコア)

=	+2
-2	+9
-4	+8
+8	+14
+3	-10
+11	+6
-7	+2
-1	+2
+7	=
-1	-1
+1	+19
+6	+8
+2	+4
+8	+10
+1	+8
+1	-8
-4	=
+5	-1
-13	-4
=	-9
+5	+5
-4	-1
+1	+6
+1	+12
-3	+1
-3	-11
-1	+9
-1	+1
-5	-10
-2	-4



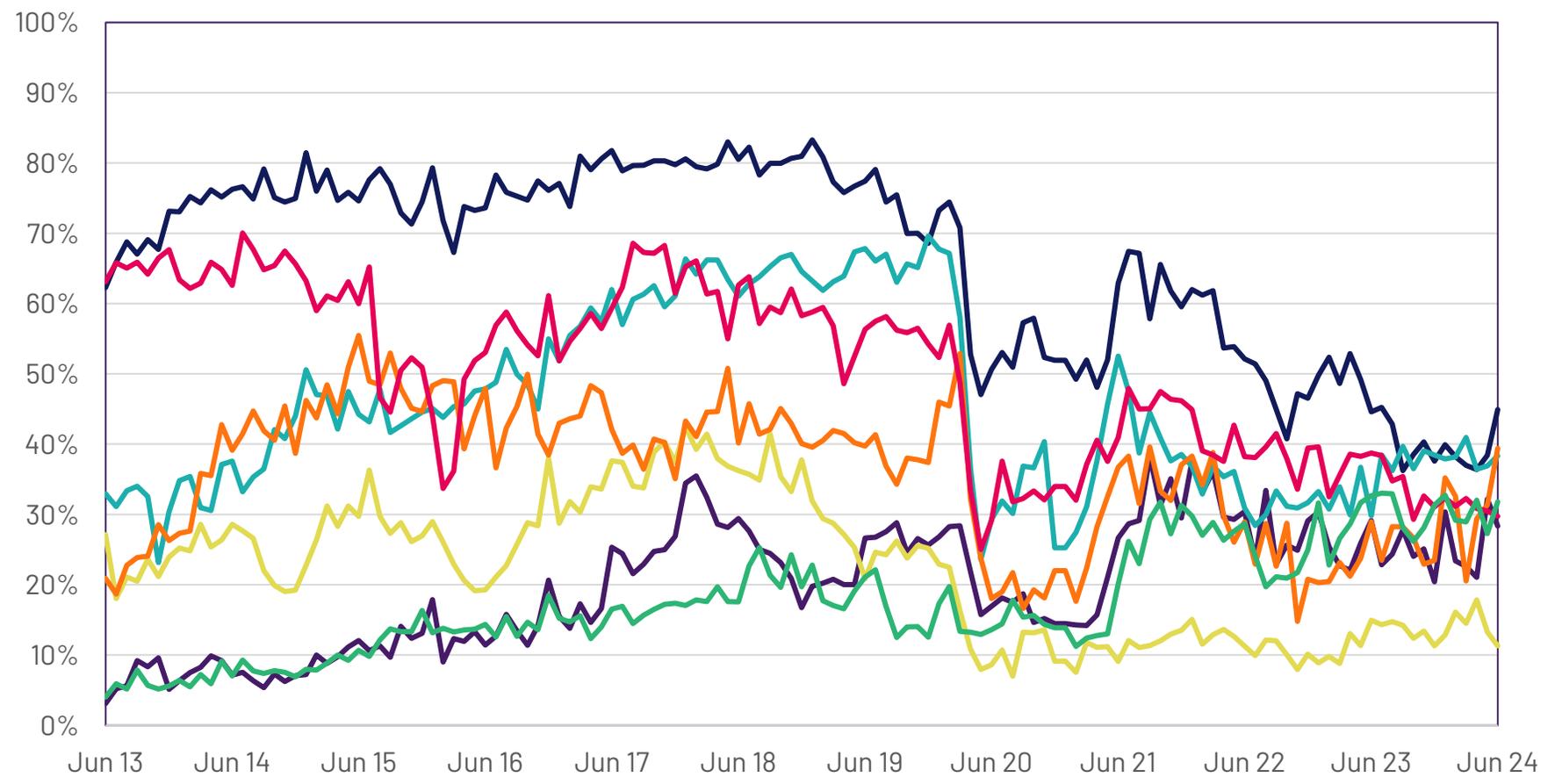
# 現在の 経済状況

G7

%「非常に良い」または「ある程度良い」

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。  
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



フランス      ドイツ      米国      日本      英国      カナダ      イタリア



# 現在の 経済状況

## カナダ

%「非常に良い」または「ある程度良い」

スコアは依然として低調で、今月の評価は再び近年の記録の中で最も低い水準となっています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

## フランス

%「非常に良い」または「ある程度良い」

フランスのスコアは月ごとに変動していますが、昨年の同時期とほぼ同水準です(1ポイント差)。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

## ドイツ

%「非常に良い」または「ある程度良い」

今月7ポイント上昇し、ドイツは2023年7月以来最高の好景気スコアを記録しています(同じく45%)。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

## 英国

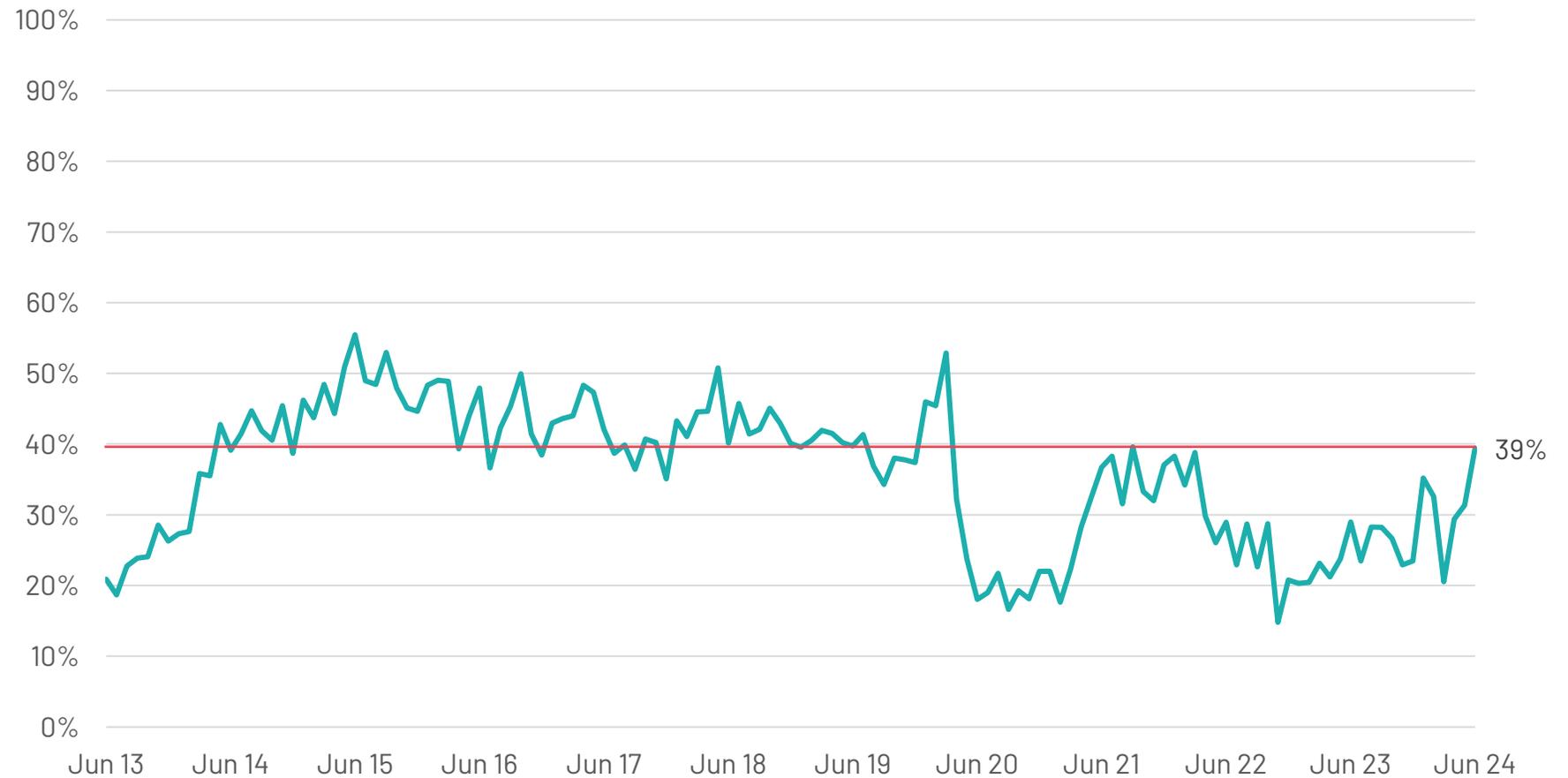
%「非常に良い」または「ある程度良い」

英国は今月8ポイント上昇し、2022年3月以来の最高の好景気スコア(同じく39%)に達しています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

## イタリア

%「非常に良い」または「ある程度良い」

楽観的な見方は先月幾分改善し、イタリアはこの指標で現在、表の中間付近に位置しています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

日本

%「非常に良い」または「ある程度良い」

日本は調査対象国の中で最も悲観的で、29カ国中最下位となっています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

## アルゼンチン

%「非常に良い」または「ある程度良い」

アルゼンチンの好景気スコアは今月1ポイント下落し、3ヶ月続いた上昇に終  
止符が打たれました。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参  
加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルス  
コアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

## イスラエル

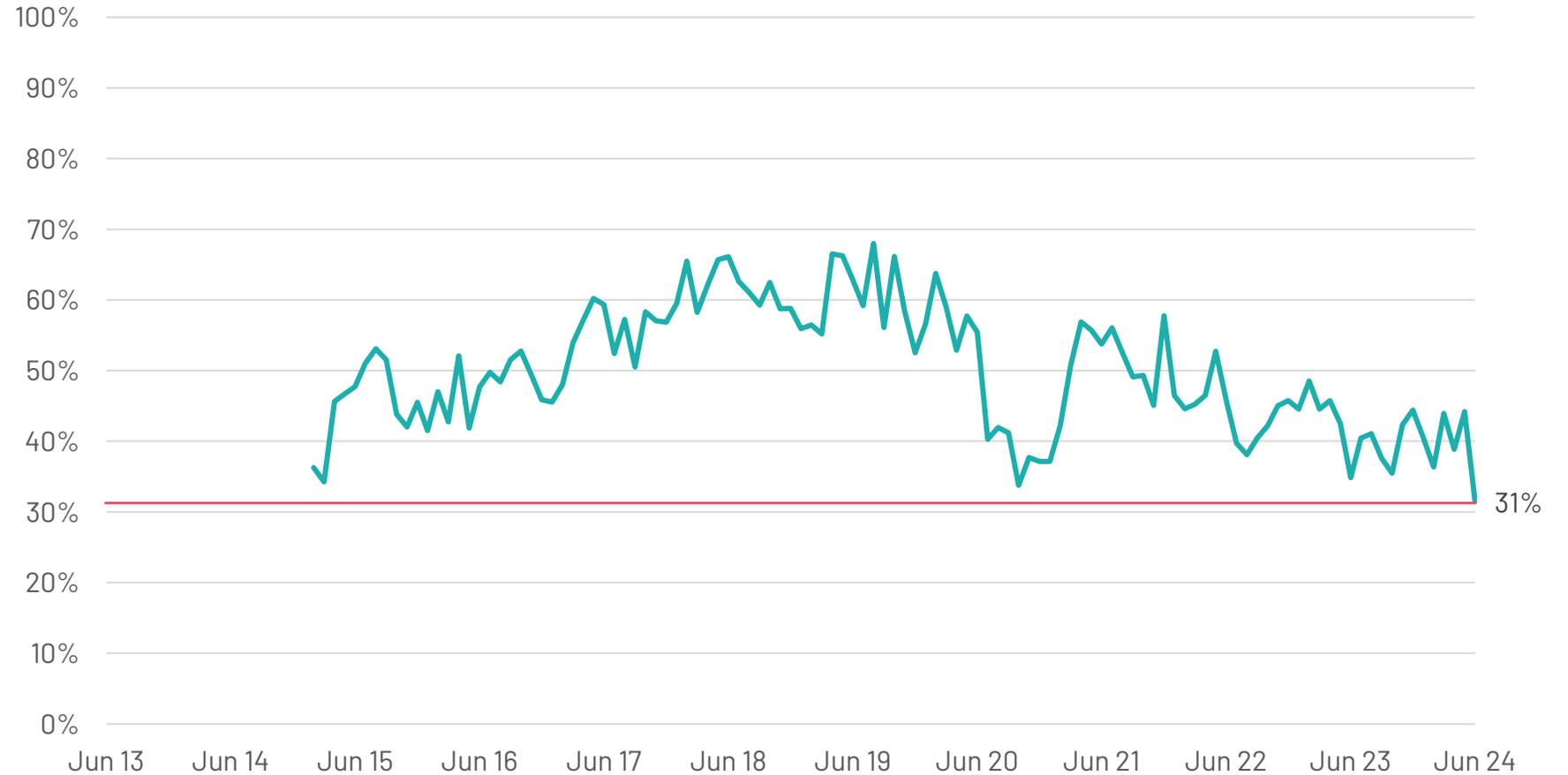
%「非常に良い」または「ある程度良い」

イスラエルは先月から13ポイント下落し、過去最低の好景気スコア(31%)を記録しています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

## マレーシア

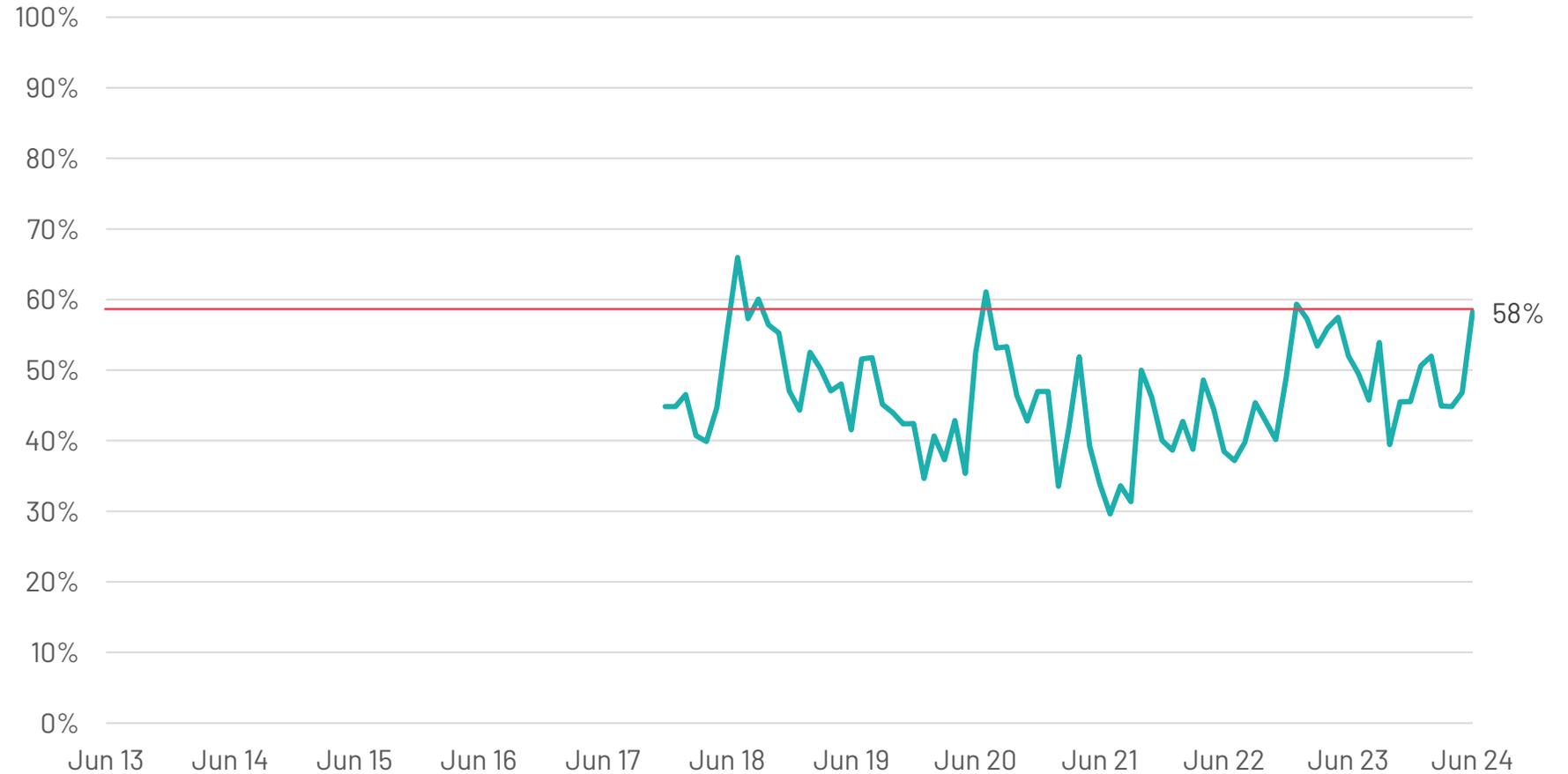
%「非常に良い」または「ある程度良い」

マレーシアの好景気スコアは先月から11ポイント上昇し、2023年1月以来の最高スコア(59%)となっています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

## メキシコ

%「非常に良い」または「ある程度良い」

メキシコの好景気スコアは先月新記録となる高スコアに達しましたが、今月は7ポイント下落しています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

オランダ

%「非常に良い」または「ある程度良い」

オランダの好景気スコアは先月から8ポイント上昇し、2022年3月(70%)以来の最高スコアとなっています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

ペルー

%「非常に良い」または「ある程度良い」

ペルーは5ポイントの低下により、本調査で2番目に低い好景気スコアとなり、2022年8月(当時は10%)以来の最低スコアとなっています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 現在の 経済状況

## 米国

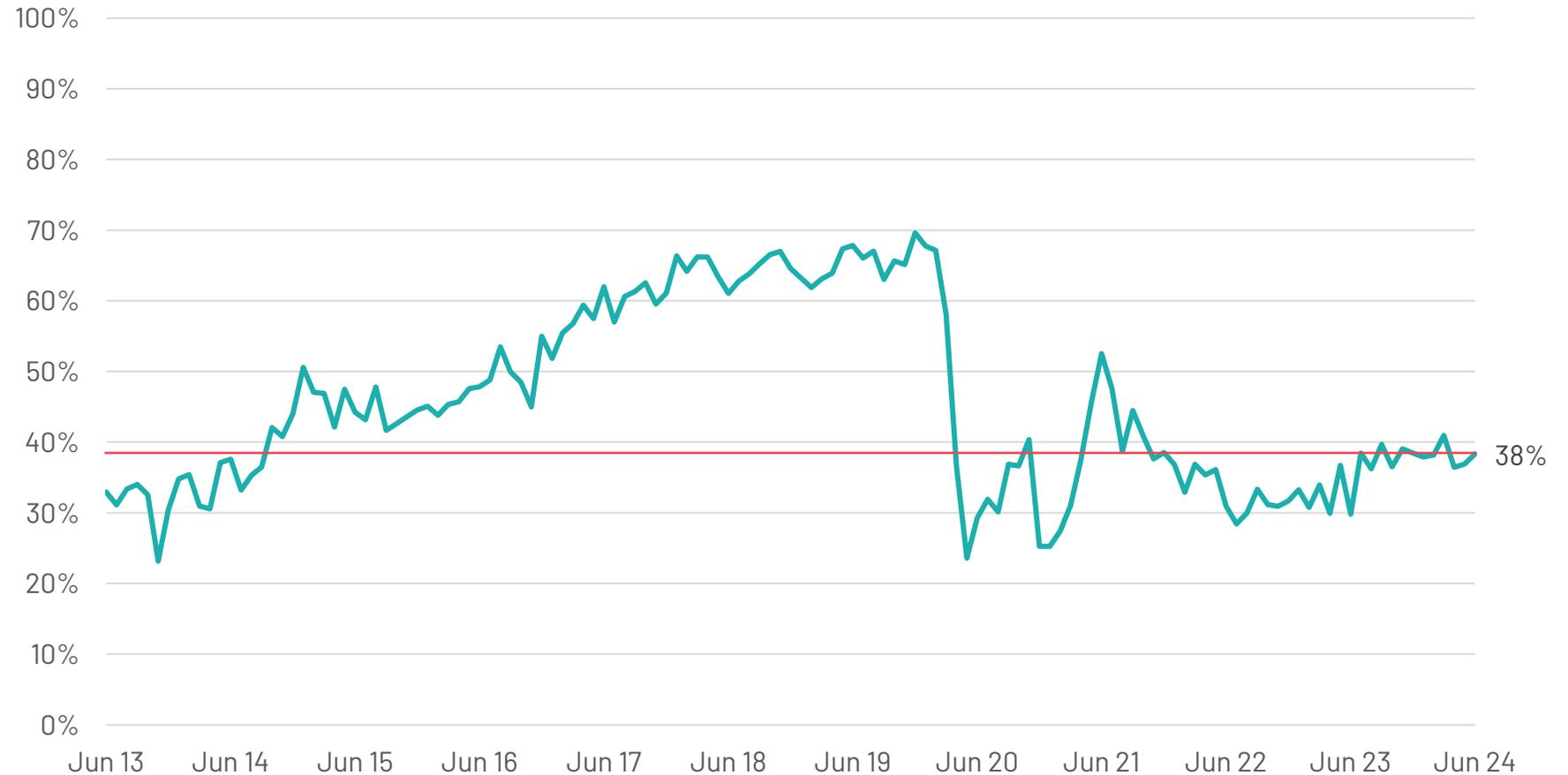
%「非常に良い」または「ある程度良い」

過去1年間、現在の経済状況に関する認識に関しては、米国は本調査で最も一貫した国でした。同国の好景気スコアは2023年7月以降わずか5ポイントしか変動しておらず、最低36%、最高41%となっています。

対象: 2024年5月24日から2024年6月7日までの、参加29カ国の16~74歳の成人25,520人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## Q: 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



# 調査手法

この29カ国グローバルアドバイザー調査は、イプソスオンラインパネルシステムを通じて、2024年5月24日から2024年6月7日の間に、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の成人25,520人を対象に実施されました。

「29カ国平均」は、調査が実施されたすべての国の平均結果を反映しています。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、全体的な結果を示すことを意図したものではありません。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、スペイン、スウェーデン、米国の各国で約1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各国で約500人以上で構成されています。

インドのサンプルは約2,200人で構成され、のうち約1,800人が対面で調査を受け、約400人がオンラインで調査を受けました。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができます。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福です。これらの市場の調査結果は、これらの人口のより「コネクテッド」なセグメントの見解を反映していると見なされるべきです。

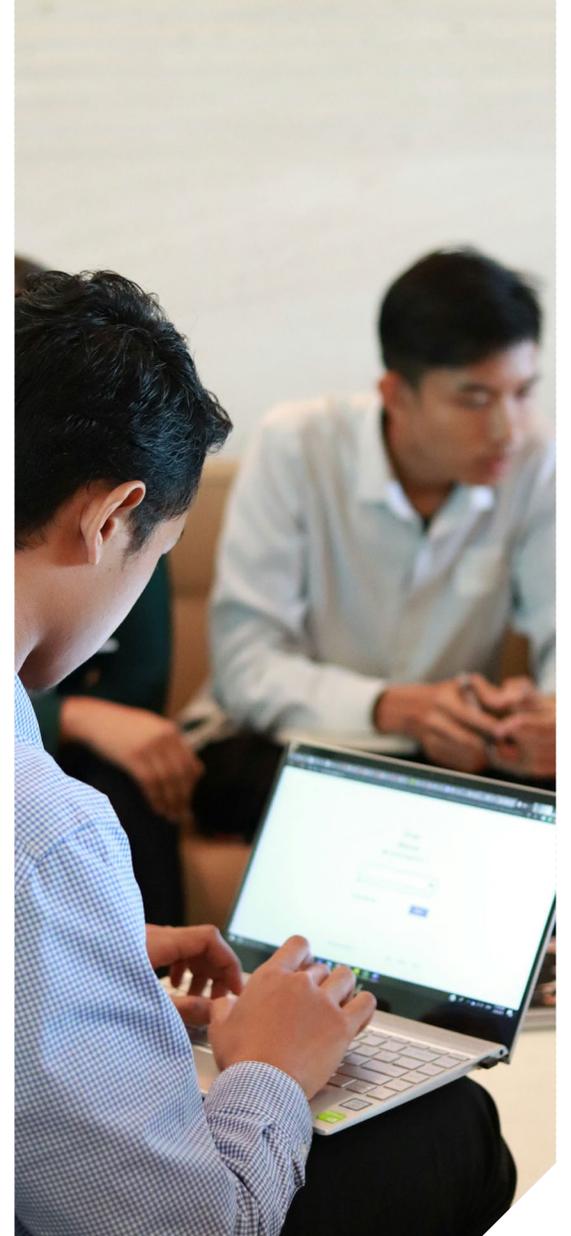
インドのサンプルは、社会経済クラスA、B、Cと、国内の4つのゾーンにまたがる都市階級ティア1～3という、都市人口の大きなサブセットを代表しています。

人口統計のバランスを取り、サンプルの構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口の構成を反映するようにするために、重み付けが行われています。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、信頼区間を使用して計算され、1,000件の世論調査では $\pm 3.5$ パーセントポイント、500件の世論調査では $\pm 5.0$ パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。

結果の合計が100にならない場合、または「差」が実際より $\pm 1$ 多い/少ないように見える場合は、四捨五入、複数の回答、または「わからない」または未回答の回答の除外が原因である可能性があります。

これらの調査結果の公表は現地の規則および規制に従います。



# THANK YOU

**CONTACT:**

[Teodros.Gebrekal@ipsos.com](mailto:Teodros.Gebrekal@ipsos.com)

**VISIT:**

[ipsos.com](https://ipsos.com)